

【件名】

鎌倉市周辺の沿岸地域における海上交通ルート開拓について

【内容】

鎌倉駅から江ノ島を経由して藤沢駅を結ぶ江ノ電（江ノ島電鉄）はその魅力から多くの利用客があり、沿線の地域振興に大きく貢献しているものと実感しておりますが、その一方でキャパシティ（ここでは輸送能力）を超過する利用客のために、一部で交通麻痺が頻発し、市民の利便に支障を来している面もあります。

その解決に向けた一案として、海上交通ルートの開拓をご検討頂きたく提案致します。

例えば材木座海岸から江ノ島を経由して藤沢・茅ヶ崎以西を結ぶルートや、材木座から三浦半島方面（逗子、葉山、横須賀、三浦など）へのルートも視野に入れ、広域（近隣自治体、県、国、企業など）での共同出資と出来れば、予算的にも実現性が高まります。

もちろん、安全性に配慮した航路開拓や沿岸住民の理解と協力を求める話し合い、採算性を考慮した事業計画が不可欠ですから、今後5年、10年をかけた検討を要しますが、その価値は十分に確信できるものです。

近隣自治体等への打診も含め、ご善処頂けるようお願い申し上げます。

【回答】

ご提案いただきました海上交通については、既に横浜市などで実施されており、交通手段として有用なものであると認識しています。

しかしながら、そうした実施済みの他都市と比べ、鎌倉市は船が停泊できる港が腰越漁港しかなく、その運用方法についても利用者である腰越漁業共同組合との合意形成が必要であることなど、これらは海上交通の実現に向けての中長期的な課題として認識しております。

また、交通計画上は、平成16年5月に策定された鎌倉市交通マスタープランでは海路を利用した構想等は位置づけておりません。さらに、平成27年9月に改定した鎌倉市都市マスタープランにおいても位置づけはなく、現時点での海上交通ルートの開拓について検討していく状況にはございません。

一方で、ご提案にあります土日祝日を中心とした利用者のピーク時における江ノ島電鉄の輸送力超過の問題は認識していることから、神奈川県内の自治体で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、運行間隔の短縮等を含めたピーク時に対応できる輸送力の増強を要望しているところです。

本市としましては、まずは、要望活動を通じて輸送力増強に向け取組んでまいりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

平成28年6月7日対応／回答